

ES 802

ポータブル PA システム







取扱説明書

 entertainment
system









安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<p>警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>万一、異常が起きたら 煙が出た、変なにおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落とした、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災/感電の原因となります。 販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) に修理をご依頼ください。 万一、煙が出ていたり、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。 すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 煙が出なくなるのを確認して、販売店まで修理をご依頼下さい。</p>
 <p>指示</p>	<p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災/感電の原因となります。 定期的(年1回くらい)に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災/感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) に交換をご依頼ください。</p> <p>付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。</p> <p>交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。 また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。 火災/感電の原因となります。</p> <p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(20cm以上)離して設置する隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない 火災/感電の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災/感電の原因となります。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>この機器のカバーは絶対に外さない カバーを外す、または改造すると、火災/感電の原因となります。 内部の点検/修理は販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) にご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しない 火災/感電の原因となります。</p>

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<p>注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードが傷つき、火災/感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p> <p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。</p>
 <p>指示</p>	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となる場合があります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p>この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災/感電やけがの原因となる場合があります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災/感電の原因となる場合があります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となる場合があります。</p>
 <p>注意</p>	<p>5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) にご相談ください。 内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となる場合があります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。</p>

目次

安全にお使いいただくために.....	2
目次.....	4
はじめに.....	4
本製品の構成.....	4
本書の表記.....	4
設置上の注意.....	5
結露について.....	5
製品のお手入れ.....	5
ユーザー登録について.....	5
別売アクセサリ.....	5
アフターサービス.....	5
商標および著作権に関して.....	5
本機の概要.....	6
各部の名称.....	7
コントロールパネル.....	7
電源パネル.....	7
設置方法.....	8
サブウーファー上の支柱に設置.....	8
電源およびサテライトスピーカーとの接続.....	9
入力機器の接続.....	9
複数の本機を接続する.....	10
適合ケーブル.....	10
DSPプリセット.....	10
トラブルシューティング.....	11
仕様.....	12
一般.....	12
寸法図.....	13

はじめに

このたびは、dBTechnologies ポータブル PA システム ES 802 をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト(<https://tascam.jp/jp/>)からダウンロードすることができます。

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

同梱物

- サテライトスピーカー (ES-TOP A、およびES-TOP-B) ×2
- サブウーファー (ES-SUB 802) ×1
- 25mm径スピーカーポール ×2
(M20ネジ式。片方は、伸縮式で固定用ピンおよび蝶ネジ付き)
- Speakon 接続ケーブル ×1
- 電源コード ×1
- 取扱説明書(本書、保証書付き) ×1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン／端子などを「**POWER**」のように太字で表記します。
- 本機のディスプレイに表示される文字を“**MAIN**”のように“**_**”で使って表記します。

ヒント

本機を、このように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏-5度～50度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。
 - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
 - 極端に温度が低い場所
 - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所。
- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- 熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機の近くに大型トランスを持つ機器がある場合にハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビ画面に色むらが出る、またはラジオからの雑音が出る場合があります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発進時、通話時に本機から雑音が出る場合があります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置してから電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

<https://tascam.jp/jp/login>

別売アクセサリ

輸送や本体保護のために下記の別売アクセサリが、ご使用になれます。

- TC-ES12 (サブウーファー用保護カバー)
- TC-ESTOP (スピーカー用保護カバー)
- DT-50 (輸送用キャリーカート)

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付(巻末に記載)されています。大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店/ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。
- 保証期間はご購入日より1年です。保証期間中は、保証書に記載の無料修理規定によりティアック修理センター(巻末に記載)が無料修理致します。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理については、ご購入の販売店またはティアック修理センター(巻末に記載)にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、ご購入の販売店またはティアック修理センター(巻末に記載)までご連絡ください。
- 修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責については、ご容赦ください。
 - 型名、型番 (ES-802)
 - 製造番号 (Serial No.)
 - 故障の症状 (できるだけ詳しく)
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Speakonは、Neutrik AGの登録商標です。
- DigiproはAEB INDUSTRIALE SRLの商標です。
- dBTechnologiesはA.E.B Industriale SRLのそれぞれの国における商標または登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

本機の概要

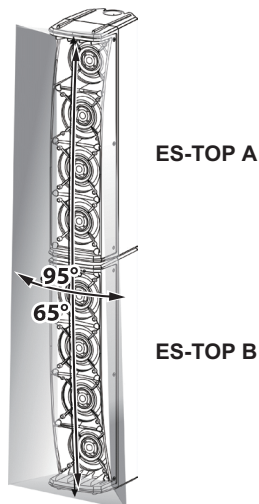
dBTechnologies ES 802は、4個の3インチ ツイーターを最適な位置に配置したサテライトスピーカー2台と12インチのサブウーファー ユニットで、構成された高音質なバイアンプ搭載のポータブル PA システムです。

- コンパクトなシステムからは、想像できないバランスの良い低域を再生します。強力な内蔵DSPと柔軟な入力系統は、多彩な用途に使用でき、屋内外など使用環境に関わらず、効果的な音響特性を発揮します。
- コンパクトで可搬性に優れ、設置が簡単(1分以内で設置が完了)にでき、強力なPAシステムが構築可能です。
- コンパクトで、簡単に分解可能なため運搬も容易です。

メインとなるユニットの重さ

サテライトスピーカー	サブウーファー
1.9 kg (×2)	16.4kg

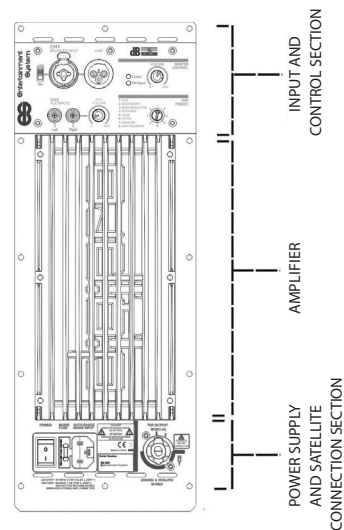
- 革新的なデザインを持つ、中高域用サテライトスピーカーは、4個の3インチ ツイーターを搭載し、水平方向 [95°]×垂直方向 [65°]の指向性を備え、様々な環境下でも狙った音響が実現可能です。



- 正確な設計によるオーバーラッピングモジュールによって、2つのサテライトスピーカー (ES-TOP AおよびES-TOP-B)を縦に合体させて、1つのスピーカーとして使用した場合、個々のサテライトスピーカーと同等の指向性を実現しました。
- 多彩な接続(LINE/MICコンボ入力、RCAステレオライン入力、LINK出力)が可能です。

- アンプ部は、クラスDのDigipro G3アンプを搭載し、出力 [1200W]の出力が可能です。

また、電圧自動切り替え機能を備えたスイッチング電源により、冷却ファンを廃した静かなシステムを実現しています。強力な内蔵DSPによって、使い方やインストール環境に合わせたDSPプリセット(EQ)が選択可能です。

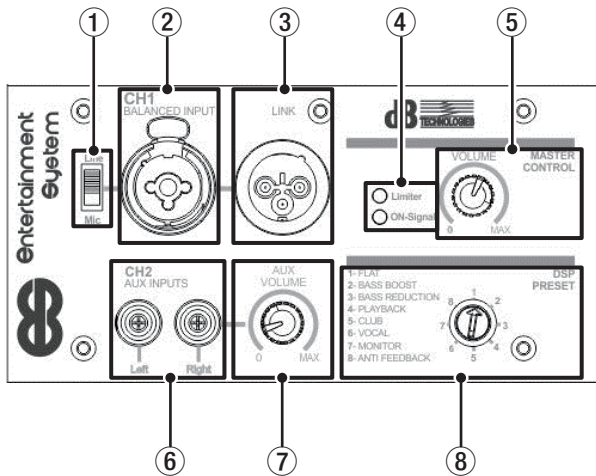


注意

- スピーカーを濡らさないでください。
- アンプ部は、決して開けないでください。
火災/感電や機器が壊れたりする原因となります。
- ケーブルの接続/取り外しは必ず、電源を切って電源コードを全て外した状態で行ってください。
- 不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。

各部の名称

コントロールパネル



① LINE/MIC

CH1入力の特性をLINE、またはMICに切り替えます。

② CH1 BALANCED INPUT

XLR/TRS コンボジャック入力端子 (バランス/アンバランス)
CH1入力端子には、ミキサーやオーディオ機器、またはマイクからの入力が可能です。

③ LINK

オーディオ XLR 出力端子 (バランス)
他のESスピーカーシステム、または他のアクティブスピーカーへの出力が可能です。

④ Limiter LED/ON-Signal LED

Limiter LED

- 電源投入時に短く点灯。
- 入力信号の歪みによるアンプ回路への悪影響やトランスへの過負荷から保護するためにリミッターが作動した場合、このLEDが点灯します。

ON-Signal LED

- このLEDは、入力信号を検知した場合に点灯します。

注意

Limiter LEDが連続して点灯したり、点滅を繰り返したりする状態は、入力信号の歪み音を伴う、過度の負荷がかかっている状態を示しています。そのまま状態で、長時間スピーカーを使用した場合、機器が壊れたりする原因となります。

⑤ MASTER CONTROL/VOLUME

本機の音量を調整*します。

* 電源を入れる前には、音量を最小にして下さい。

⑥ CH2 AUX INPUTS(Left/Right)

RCA L/R 入力端子(アンバランス)

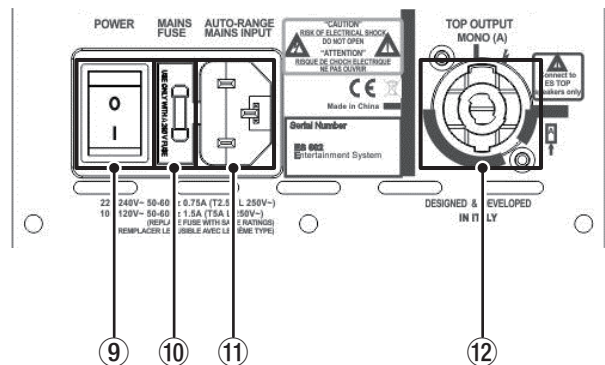
オーディオ機器などの外部ライン機器から、ステレオ入力が可能です。メインのCH1入力とは、別系統の入力となります。

⑦ AUX VOLUME (0~MAX)

CH2 AUXに入力されたライン機器の入力レベルを調整*します。

* 電源を入れる前には、レベルを最小にして下さい。

電源パネル



⑧ DSP PRESET

入力ソースや設置環境に合ったDSPプリセット(EQ)を選択します。
(10ページ「DSPプリセット」を参照)

⑨ 電源スイッチ

⑩ ヒューズホルダー

本機は、ヒューズを備えています。
万一、動作しなくなった場合は、電源プラグを抜いてティアック修理センター(巻末に記載)にご相談ください。

⑪ AC IN 端子

付属の電源ケーブルを接続します。

⑫ TOP OUTPUT MONO(A)

Speakon 端子

付属のSpeakon 接続ケーブルを使用してサテライトスピーカー(ES-TOP A)にスピーカー信号を出力します。

注意

サテライトスピーカーとの接続には必ず、Neutrik社製端子を採用したケーブルを使用してください。

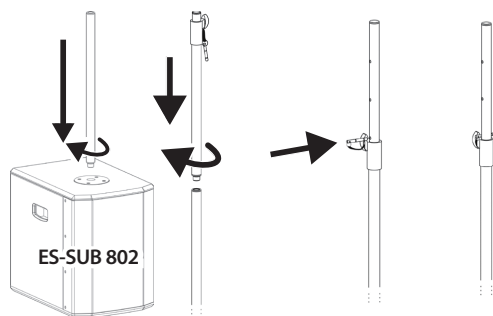
また、損傷したケーブルを使用すると動作や音質に影響を及ぼしますので、新しいケーブルに交換してください。

設置方法

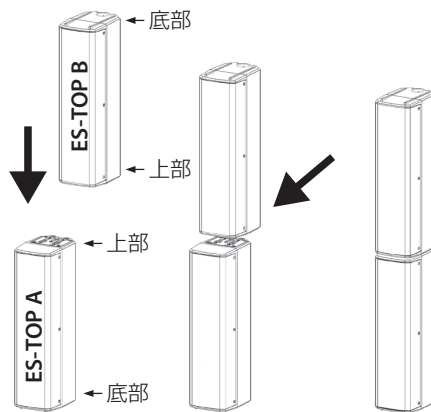
サテライトスピーカーの設置は、同梱の2本の25mm径ポール(M20ネジ式、片方は伸縮式)により[最大245cm]の範囲で高さを調節することができます。

サブウーファー上の支柱に設置

1. 25mm径ポール(固定長)をサブウーファー天面のネジ穴に取り付けてください。
2. もう一方の25mm径ポール(伸縮式)を上に取り付けてください。
3. ポールの高さを調節するには蝶ネジを緩めて希望の高さに合わせた後、固定用ピンを差し込み、再び蝶ネジを締めてください。



4. サテライトスピーカー (ES-TOP B)を上下逆さまにして、もう一方のサテライトスピーカー (ES-TOP A)のガイドレールにスライドして接続してください。その際、接点どうしが接触している事を確認してください。



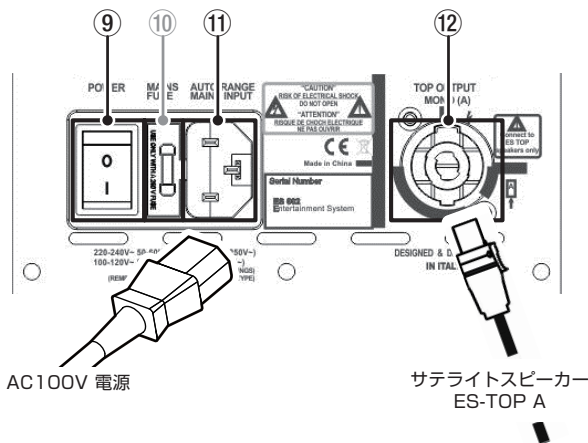
5. クリック音が聞こえるまで、スピーカー (ES-TOP B)をスライドしてロックされることを確認してください。
6. 合体したサテライトスピーカー (ES-TOP A)をポールに差し込んでください。



注意

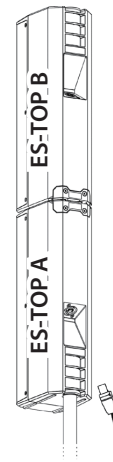
- サテライトスピーカーをポールに取り付ける際は、しっかりと差し込んでください。無理に回しながら差し込むと挿入部が破損する場合があります。
- 輸送時は、必ずサテライトスピーカーおよびポールを取り外してください。
- サテライトスピーカー (ES-TOP A)側を、必ずポールに取り付けて使用してください。サブウーファーからのケーブルは、このサテライトスピーカー (ES-TOP A)側に接続します。

電源およびサテライトスピーカーとの接続



1. 電源コードの電源コネクタ側をAC IN端子⑪に接続し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。差し込んだ電源コネクタと電源プラグに緩みやガタが無いことを確認して、電源スイッチ⑨をオンにしてください。
2. リミッターLED④が一瞬点灯し、その後、消灯します。
3. ゆっくりとマスターコントロール/ボリューム⑤を上げるか、AUXボリューム⑦を上げてください。
4. オーディオ信号の入力を検知した場合は、オン シグナルLED④が点灯します。
5. DSPプリセット⑧を適切な設定に切り替えてください。

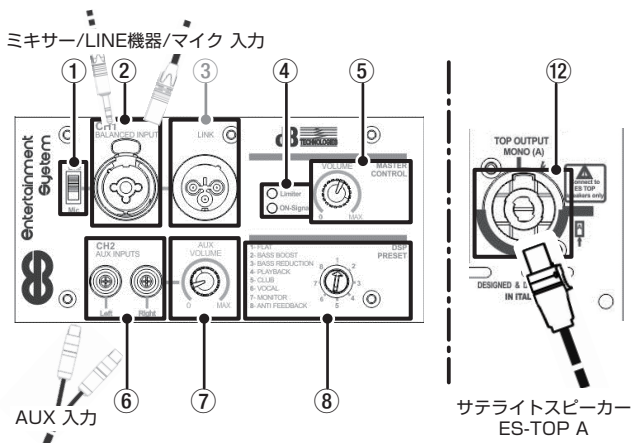
3. マスターコントロール/ボリューム⑤を左側に絞ってください。
4. 一時的にDSPプリセット⑧をFLATに設定してください。
5. 付属のSpeakon 接続ケーブルを使って、TOP OUTPUT MONO(A)端子⑫とサテライトスピーカー (ES-TOP A)を接続してください。



注意

サテライトスピーカーとの接続には必ず、Neutrik社製端子を採用したケーブルを使用してください。

入力機器の接続



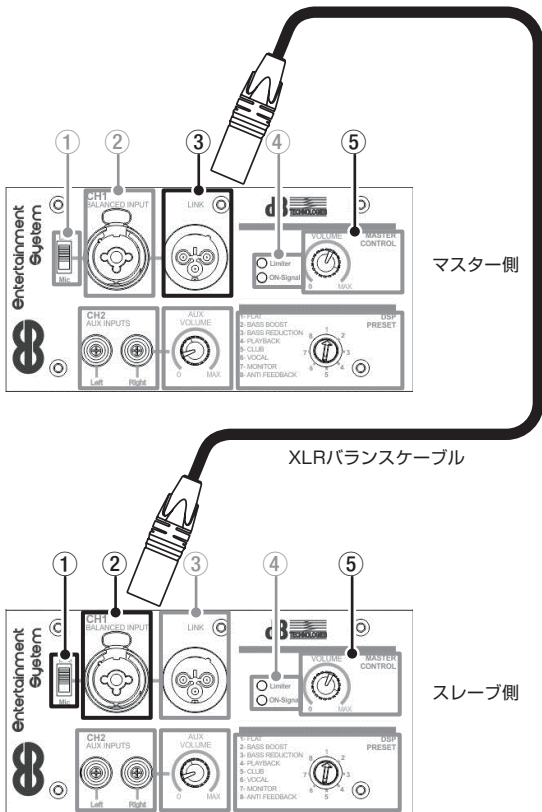
1. CH1入力端子②には、XLR端子(バランス接続)またはTRS端子(アンバランス接続)を接続し、LINE/MIC①を音源側の機器の種類(ミキサー /LINE機器、またはマイク)に合わせてください。一般的なオーディオ接続用ケーブルの種類については、10ページ「適合ケーブル」表を参照してください。
2. CH2入力端子⑥に接続する場合は、AUXボリューム⑦を左側に絞ってください。

このCH2入力⑥とCH1入力②の信号は、それぞれボリューム調整することでミックスすることができます。

(マスターコントロール/ボリューム⑤は、全体のボリューム調整を行います。)

複数の本機を接続する

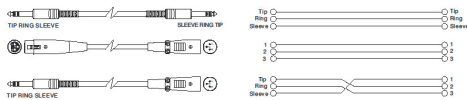
XLRバランスケーブルを使う事で、別のES 802にデジチェーン接続することができます。



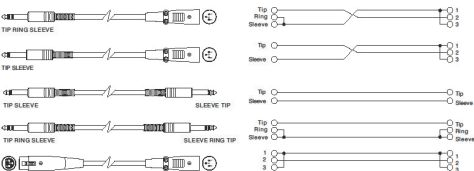
- マスター側のLINK出力端子③から別のスレーブ側のCH1入力端子②に接続してください。
- 2台目以降のLINE/MIC①は、LINE側に設定してください。
- 接続した個々のスピーカーのボリュームは、連動していません。それぞれのマスターコントロール/ボリューム⑤で調整してください。

適合ケーブル

適合するオーディオケーブルには、以下のタイプがあります。
バランスケーブル



アンバランスケーブル



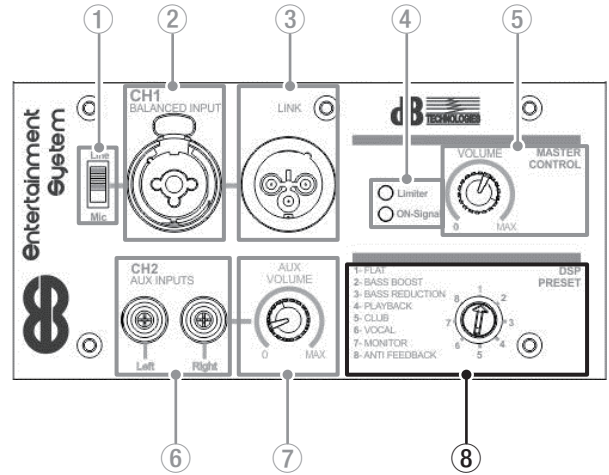
注意

- ケーブルの接続/取り外しは必ず、電源を切って電源コードを全て外した状態で行ってください。
- 不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。

DSPプリセット

ES 802は、DSPによって処理される8種類のデジタルイコライザーがあらかじめプログラムされており、目的に応じてプリセット値を選択できます。

選択するには、小さなマイナスドライバーを使ってDSPプリセット⑧を希望する番号に合わせてください。



1-FLAT	イコライジングをかけずに、入力されたオーディオ信号をそのまま出力します。 ライブ公演などに最適なイコライザーです。
2-BASS BOOST	低域を増強します。
3-BASS REDUCTION	低域を減衰することで、反響の大きい空間における明瞭度の向上に最適です。
4-PLAYBACK	MP3プレーヤーやCDからの入力に使用する場合に、最適なイコライザーです。 低域と高域の音が増幅されます。
5-CLUB	バックグラウンドで音楽が流れるような、小さな屋内空間での音響を改善します。 低域が拡大/増幅することで、小音量時でもより温かな音を作り出します。
6-VOCAL	ボーカルやスピーチなどマイクを通して入力する場合に最適な設定です。中高域を強調し、ボーカルをシャープにするイコライザーです。 (LINE/MIC①は、MIC側)
7-MONITOR	ES 802をモニター用途として使用する場合に最適な設定です。
8-ANTI FEEDBACK	カーディオイドマイクを使用する場合など、厳しい条件下でフィードバックリスクを最小限にするノッチフィルターです。

トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。

それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご連絡ください。

スピーカーの電源が入らない

- 電源ケーブルが、確実にAC インレットに挿入されているかご確認ください。
- 主電源が、供給されているかご確認下さい。
- 電源スイッチがオンになっているかご確認ください。
（電源 スイッチが "I" 側でオン）

電源は入るが、音が出ない

- 音源側（ミキサー、キーボード、CDプレーヤーなど）が、再生しているかご確認ください。
音源側の機器からのオーディオ入力の接続をチェックして、音源側の機器が正常に動作しているかご確認ください。
- L/Rの入力にケーブルが、しっかり挿さっているかご確認ください。
- マスターコントロール/ボリュームまたはAUXボリュームをチェックして、適正な値に設定してください。
- 接続ケーブル類に損傷がないかご確認ください。
- Speakon 接続ケーブルが、しっかり挿さっているかご確認ください。
挿入後、右に回しロックすることでオーディオ信号の接続が確立されます。

音が歪んでいる

- 接続した音源側の機器（ミキサーなど）のボリュームを調整して、本機に適正なレベルで出力されているかご確認ください。必要に応じて音源側の出力レベルを調整してください。
- 接続ケーブルに損傷がないかご確認ください。
ケーブルに損傷がある場合は、交換してください。

スピーカーから音が出ない

- 電源を切って、サブウーファーとサテライトスピーカーの接続ケーブルを外して、ケーブルに損傷がないかご確認ください。
- サブウーファーのTOP OUTPUT MONO (A) 端子とサテライトスピーカー (ES-TOP A) の入力端子が、正しく接続しているかご確認ください。
- サテライトスピーカーの場合
2台のスピーカー (ES-TOP A、ES-TOP B) を一度外した後、再接続して、接続部に隙間がないかご確認ください。
- マスターコントロール/ボリュームまたはAUXボリュームをチェックして、適正な値に設定してください。

注意

- 電気回路を濡らさないこと。
- 適切な換気のために、サブウーファーを壁に密着させたり布で覆ったりしないこと。
- 適切な入力信号レベルで使用すること。
- 音を歪ませないこと。
- グランドループを避けること。

仕様

形式	バイアンプ アクティブスピーカー
スピーカーユニット	
MF-HF	3インチ ツイーター ×8
LF	12インチ×1
指向性	95×65°
アンプ部	
形式	Digipro G3クラスD
出力	1200W
冷却システム	自然対流式
周波数特性	33~15,000Hz
最大SPL	124dB (max)
クロスオーバー周波数	206Hz
DSP部	
コントローラー	DSP 56bit
AD/DA処理	24Bit/48kHz
プリセット	1~8種類
プリセット選択方式	ロータリーセレクター
リミッター	デュアルアクティブ、ピーク、RMS、サーマル
表示LED	リミッターLED×1、入力シグナル用LED×1
AUX ボリューム	エンコーダー ×1
外部入力	
Mic/Instrument	XLR/TRS兼用端子×1 (バランス/アンバランス)
Line	RCA L/R 入力端子×1 (アンバランス)
外部出力	
Link	XLR端子×1 (バランス)
TOP OUTPUT MONO 端子	Neutrik社製 Speakon 端子×1

一般

電源	
電圧	AC 100~240V(自動切替式)、50/60Hz
電源端子	AC インレット

注意

日本国内においては、AC100Vのみ動作保証となります。(それ以外の電圧で、使用しないでください。)

消費電力	
(100-120V時)	400W (MAX)

外形寸法

幅×高さ×奥行(突起部を含まず)	
サテライトスピーカー	95×360×137.5 mm
サブウーファー	465×400×430 mm

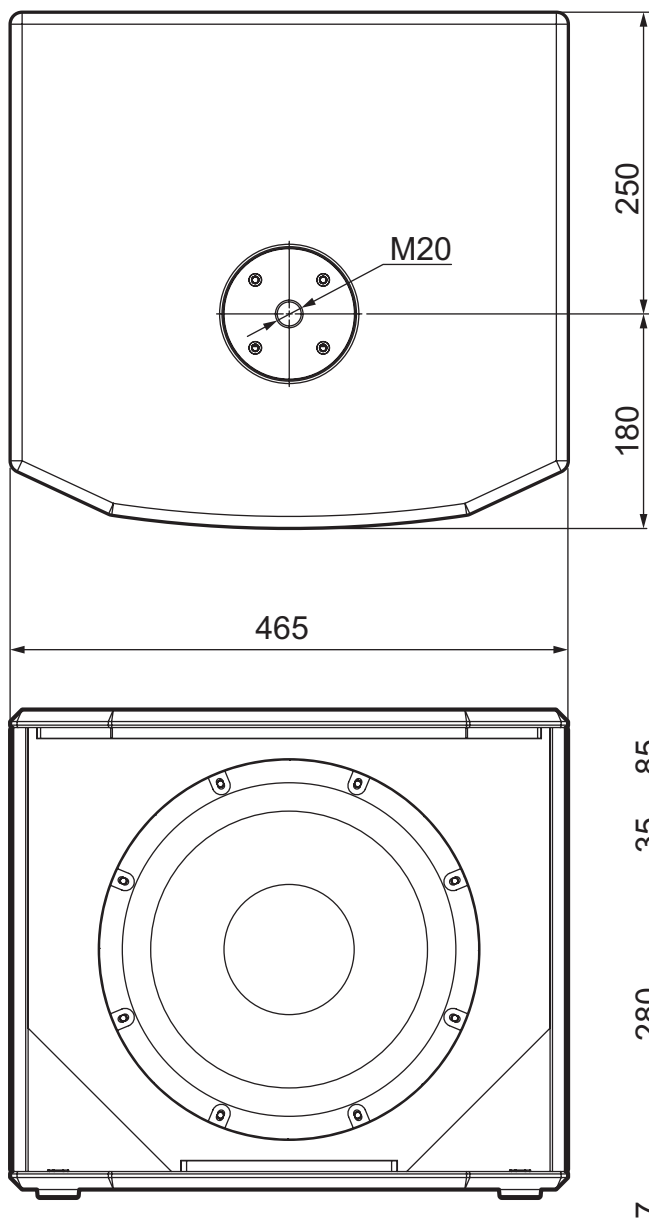
質量

サテライトスピーカー	1.9kg/個
サブウーファー	16.4kg

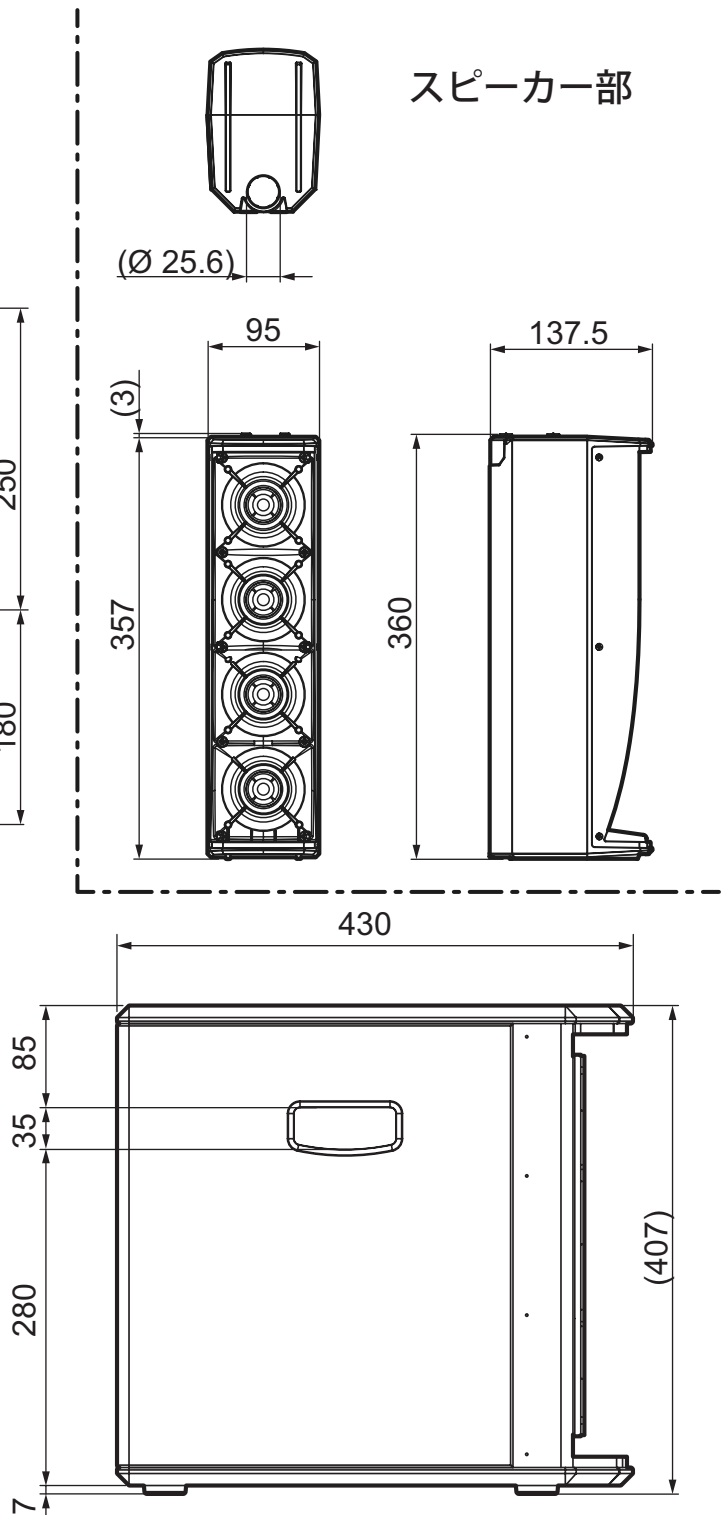
動作温度	-5 ~ +50℃
-------------	-----------

寸法図

サブウーハー部



スピーカー部



- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。



無料修理規定(持ち込み修理)

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
無償修理の対象は、お客さまが日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
 - (1)ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2)お買い上げ後の輸送/移動/落下などによる故障および損傷
 - (3)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4)接続しているほかの機器に起因する故障および損傷
 - (5)業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷

(6)メンテナンス

(7)本書の提示がない場合

(8)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
These warranty provisions in Japanese are valid only in Japan.
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間/条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。



ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



0570-000-809

市内通話料でOK ナビダイヤル 一般電話/公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

● ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話: 042-356-9137 / FAX: 042-356-9185

故障/修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



0570-000-501

市内通話料でOK ナビダイヤル 一般電話/公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

● ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話: 04-2901-1033 / FAX: 04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Printed in Japan

保証書

品名 および 形名	dBTechnologies	
機番	ES 802	
保証期間	本体	年
お買い上げ日	年 月 日	
お客様	お名前	
	ご住所	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束する
期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理セ
ンターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	
電話	()

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサー
ビス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用
させていただく場合がございますので、ご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話: 0570-000-501(ナビダイヤル) / 04-2901-1033